

経営比較分析表（令和5年度決算）

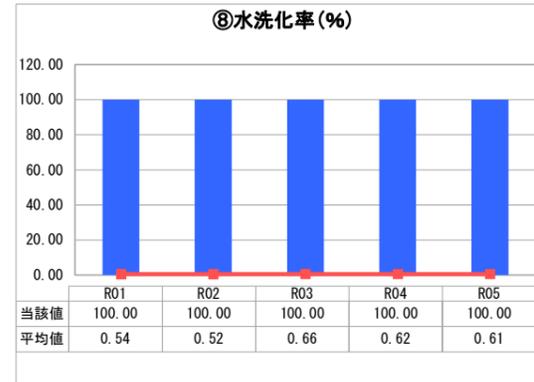
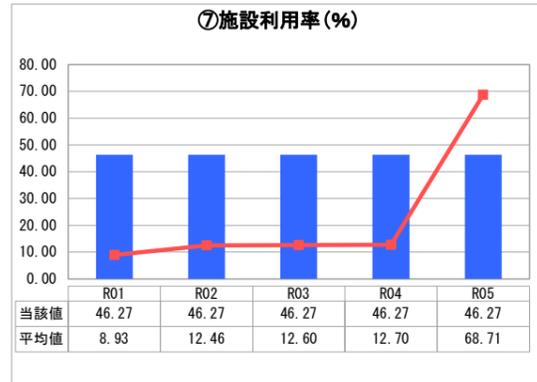
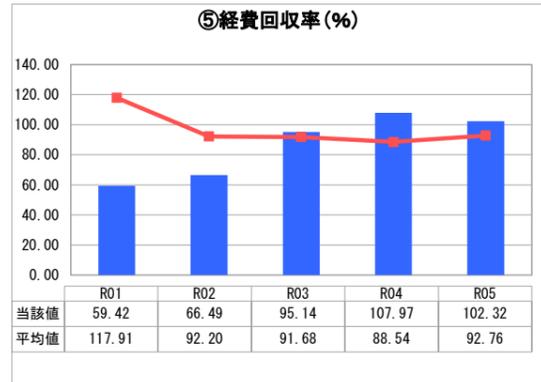
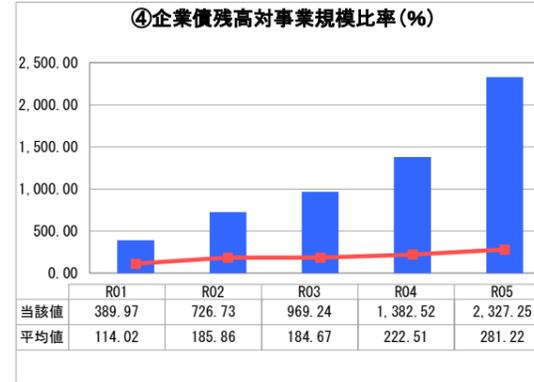
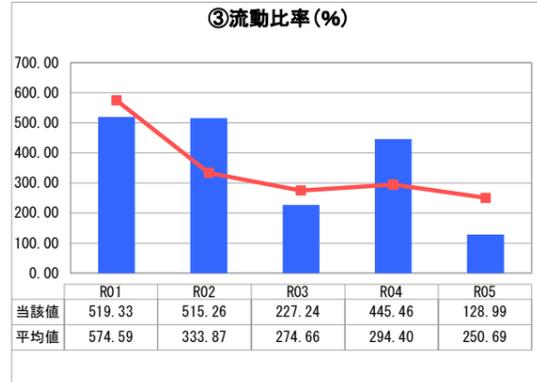
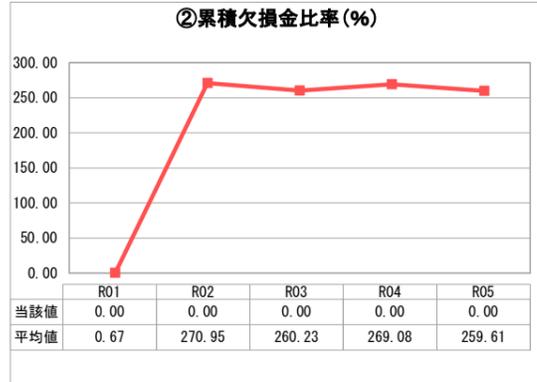
岩手県 北上市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定公共下水道	-	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	34.78	0.24	94.88	3,414

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,547	437.55	209.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
219	1.63	134.36

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 使用料収入は昨年度に比べて減少しているものの、指標は昨年度に続き100%を超えている。当市の特定公共下水道事業は政策的に低廉な使用料設定とされていることから、繰入金への依存度は高いといえる。
- ② 平成29年度以降は発生していない。
- ③ 比率は100%を超えているが、大規模な設備投資により企業債償還額の増加が見込まれるため、引き続き注視していく必要がある。
- ④ 終末処理場に係る大規模な設備投資を行っており多額の企業債を発行したため、指標は大幅に増加している。今後も処理場の増設等が続く場合には企業債残高も増加していくため、注視していく必要がある。
- ⑤ 令和4年度に続き100%を超えたものの、使用料収入は減少、汚水処理費は増加した。電気料の高騰や施設修繕などが見込まれることから引き続き経営改善に取り組む必要がある。
- ⑥ 汚水処理費は増加しているが年間有収水量は減少したため、指標は上昇した。
- ⑦ 令和5年度まで横ばいだが、処理場の増設と立地企業の排水量の増減により、今後は指標が変動していくことが想定される。適切な施設規模を維持する参考としていく。
- ⑧ 整備が完了し、受益者の接続も完了している。

2. 老朽化の状況について

- ① 類似団体の平均を下回る状況だが、今後ストックマネジメント計画を更新し、計画的に施設・設備の更新や長寿命化を行っていく。
- ② 法定耐用年数を超えた管渠はないが、今後は管渠の経過年数等を把握し、長寿命化事業等を計画的に行っていく。
- ③ 法定耐用年数を超えた管渠がないことから、更新等は行っていないが、今後は管渠の経過年数等を考慮し、計画的に更新を行っていく必要がある。

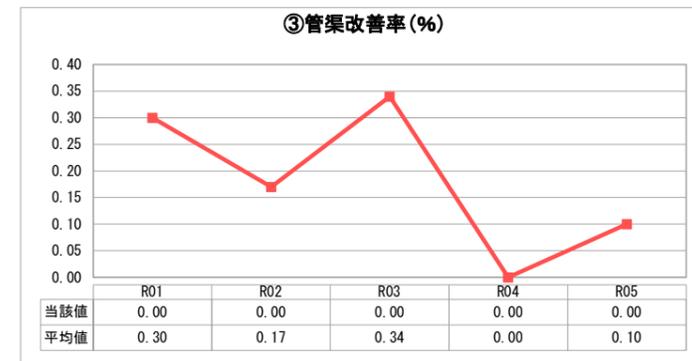
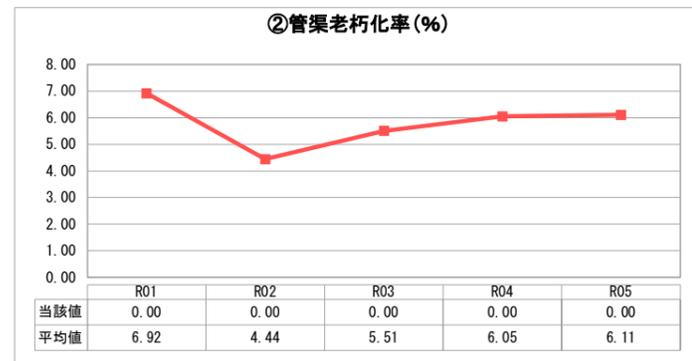
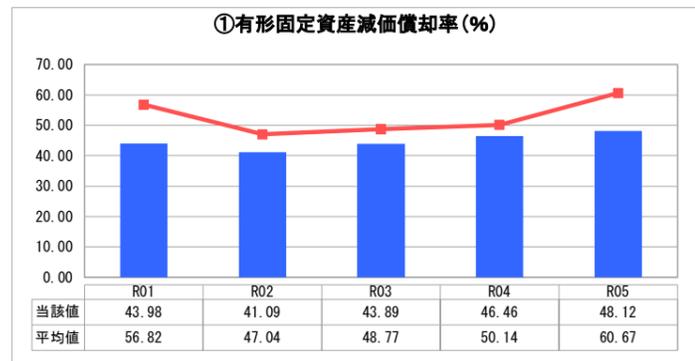
全体総括

令和4年度に比べて使用料収入は減少したが、今後は立地企業の製品増産により使用料収入の増加が見込まれる。その一方で費用面では、処理場増設に伴う維持管理費及び減価償却費の増が見込まれ、一般会計の補助金への依存度が高い状況が続いていくと想定される。

既存の処理場については一定の長寿命化工事は行っているものの、施設の老朽化は依然進んでおり、今後も適切な維持管理と計画的な設備更新が必要となる。

現在行っている大規模な設備投資とそれに伴う維持管理費用の増嵩などを適切に見込み、長期的な財政・投資計画の進捗管理を行いながら、強固な財政基盤の構築に取り組んでいく必要がある。

2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。